



もうすぐ夏休み！読書を楽しもう！！

期末考査も終わり、あっという間に1学期を終えようとしています。3年生はそれぞれの進路に向かって本腰を入れていかねばならない大事な時期になってきますね。梅雨寒もあれば暑くて大変な日もあります。体調管理に気をつけ、暑い時は是非図書館へ！！涼しい図書館で勉強や読書を楽しみましょう。新しい本も並びますので、お楽しみに！

☆書いてみよう！読書感想文☆

毎年悩まされている人も多いのではないのでしょうか？授業でも説明があったと思いますが、ヒントを挙げてみましょう。



①本を選ぼう！

・自分の年齢や好みに合うと感想文も書きやすくなります。学年やクラスの読書好きさんや、図書委員、両親、先生、図書館司書の人におすすめは何か聞いてみるのも良いですね。

・「自分で書店で見て購入したい」という人のために、「高校生に読んでほしい50冊」(新潮文庫、中学校版もあり)を全校配布しますので、参考にしてみてください。

②本を読んで理解しよう！ 例えば…

・1回目はだいたいの感想をつかみながら読み進めましょう。「ふせん」を使ってメモしていくと良いです。ふせんも種類が豊富なので、お気に入りを見つけて使ってみましょう。

・2回目は、気になるところをもう一度読み、具体的に「おもしろいところ」「悲しいところ」「腹が立ったところ」「ジーンときて、涙が出そうになったところ」「よく分からなかったところ」「初めて知ったこと」「誰かに伝えたいこと」「気に入った文章」などなど、ふせんやノートなどにメモします。3回目はそのメモの場所を中心に読んで自分の考えを確かめましょう。

※分からない言葉や漢字、知らない事柄を辞典などで調べましょう。国語力も付きますよ！

③書き始める前に

・作文用紙の使い方は大丈夫ですか？基本的な約束事は国語の資料集などにもまとめてありますので、確認すると良いでしょう。本の文章を引用したいときは「」を使って区別し、自分の考えをしっかりと書くことが大事です。

④実際に書いてみよう！

・書き出しを工夫しましょう。また、面倒でも簡単な文の組み立て表(はじめ・中・終わりに分けて)を作ってみると書きやすくなります。

KJ祭図書企画に

ご協力ありがとうございました！

今年のKJ祭図書企画は、図書館で開催しました。昨年度とは違う会場ということで、お客様がこちらまで足を運んでくださる心配な面もありましたが、案内図を片手に多く生徒、一般の方が来場されました。様々な企画展示の他、毎年恒例の古本市も開催、今年の古本市の売上は、18,720円となりました。この売上は例年通り図書の充実に充てたいと思います。

また、今年初めて「KJミニビブリオバトル」も行いました！一般のお客様も交えて和やかに行われました。伊藤一寿先生も飛び入りで参加され、『新明解国語辞典』をご紹介くださいました。投票の結果、チャンプ本には2Bの生徒が紹介した『浜村渚の計算ノート』(青柳碧人：著、講談社文庫)が選ばれました。

本を提供してくださった皆さん、図書企画に立ち寄ってくださった皆さん、ありがとうございました！



←準備ができた会場の様子。



広々とした会場でお目当ての本を探しに多くの方が来てくださいました。

～*～POP・しおりコンクール結果～*～

POP 第1位

3C 関口実さん
「有頂天家族」森見登美彦 著

しおり 第1位

1E 羽場桜来さん

～～お二人には、賞品として図書カード500円分をプレゼントしました。～～



●図書委員を通して呼びかけていますが、昨年度までの借りたままの本、4月から借りたままの本はありませんか？あなたが借りっぱなしのその本が返却されるのを心待ちにしている人がいますよ～。返却日を守り、気持ちよく利用しましょう！

●大変お待たせしました！！新刊図書がカウンター前に並びます！！今回入った本のリストは裏面です。たくさん読んでくださいね！

●夏休みの開館予定表を配布します。図書館を有効活用して、夏を乗り切ろう！！

新刊図書一覧

『自転車の教科書』堂城賢 著（小学館文庫）

MTB（マウンテンバイク）のプロライダーでもある著者が、“全ての自転車乗りのための、日本で最初の教科書”として執筆！豊富なイラストで自転車の「正しい」乗り方を解説します。

『現代アート、超入門！』藤田令伊 著（集英社新書）

「現代アート」というとどんな作品を思い浮かべますか？“現代アート7大わからない”を著者が分かりやすく解決していきます。これであなたも「現代アート通」になれる！

『か「」く「」し「」ご「」と「』住野よる 著 （新潮社）

印象的なタイトル！5人の高校生それぞれが持つ“ちよっとだけ特別な力”…。それぞれの目線で語られる“かくしごと”…。高校生らしさあふれる爽やかな小説です。

『韓国ぐらしは万華鏡』本橋良子 著（亜紀書房）

今から約40年前、まだ日韓の間を行き来する日本人が少なかった頃、縁あって韓国に嫁いだ著者。韓国の人・もの・文化を、13年間そこで暮らした著者の目線で綴っていきます。

『蜜蜂と遠雷』恩田陸 著（幻冬舎）

2017年本屋大賞&直木賞受賞作品です！ピアノコンクールを舞台に、4人の登場人物をはじめとして幾多の天才たちと繰り広げる“競争”という名の自分との戦い…。果たして優勝するのは誰でしょう。

『いまさら翼といわれても』米澤穂信 著（角川書店）

『氷菓』『愚者のエンドロール』『クドリャフカの順番』『遠まわりする雛』『ふたりの距離の概算』に続く〈古典部〉シリーズの6冊目。誰もが「大人」になるために挑まなければならない「謎」とは…。

